第１回

足助地区全体の教育環境を考えるワークショップ（全体ワークショップ）

日時：令和８年９月27日（日）午後１時～午後４時

プログラム

開会・あいさつ	10分
事務局からの説明 ・　全体ワークショップの趣旨・目的 ・　進め方とスケジュール ・　足助地区の現状 ・　豊田市が目指すこれからの教育環境 ・　第１回全体ワークショップの検討内容	30分
グループ討議の進め方の説明	5分
休憩	5分
グループ討議	90分
休憩	10分
発表	20分
事務連絡・閉会	10分

<目次>

- 全体ワークショップの趣旨・目的…… 2
- 進め方とスケジュール…… 3
- 足助地区の現状 …… 8
- 豊田市が目指すこれからの教育環境…… 10
- 第１回全体ワークショップの検討内容…… 15

全体ワークショップの趣旨・目的

少子化、人口減少に伴う課題を踏まえ、山村地域における学校再編に当たっては、こどもの教育環境の向上を中心に据えるとともに、将来を担うこどもたちが安心して住み続けられる地域社会の維持・発展も視野に入れながら、持続可能な地域づくりにつなげるよう、基本となる考え方を整理した「山村地域の学校再編基本方針」を令和８年７月に策定しました。こうした方針に基づき、足助地区では学校再編に向けた検討を進めています。

これまでに、各小学校区別ワークショップを開催し、それぞれの小学校区における教育上の課題について議論・共有してきました。今回の「全体ワークショップ」では、これまでの議論を踏まえ、足助地区全体の視点から学校再編について考え、意見交換を行います。

今後は、「全体ワークショップ」をはじめ、「オープンハウス」や「かわら版」により、多くの市民の皆様のご意見を伺いながら、学校再編に向けた検討を進めていきます。そして、いただいたご意見を踏まえ、令和９年度中に足助地区の学校再編の方針である「学校再編構想」の策定を目指しています。

進め方とスケジュール

1 検討のステップ

今年度からワークショップ等で得られたご意見を踏まえ、学校再編構想の策定に向けて、下図の５つのステップに基づき段階的に検討を行います。すでに７月には住民説明会を実施したほか、９月上旬から各小学校区別のワークショップ（ステップ 1）を開催しています。

全体ワークショップは、ステップ 2～ステップ５までに位置付けており、計４回の開催を予定しています。足助地区の教育環境をめぐる課題を地域全体で共有・議論するための場として開催します。

なお、本日はステップ２を行います。

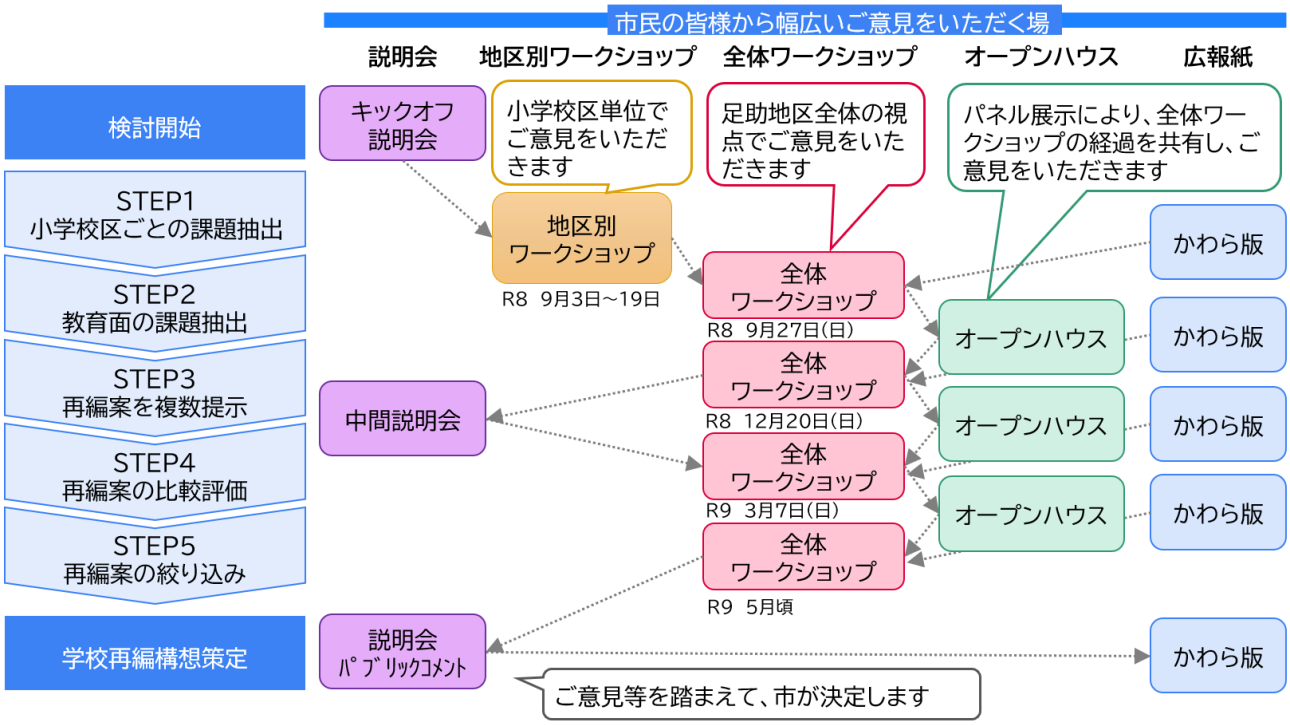
学校再編構想策定に向けた“５つのステップ”

ステップ１	小学校区ごとの課題抽出	・各小学校区別のワークショップなどを通じて、各小学校区の教育環境に関する課題を確認して問題意識を共有します。
ステップ２	教育面の課題抽出（本日）	・全体ワークショップを通じて、足助地区の教育環境に関する課題を確認して問題意識を共有します。
ステップ３	再編案＆比較評価項目検討	・課題解決に向けた方策について共有し、複数の学校再編案を検討します。さらに、複数の学校再編案を比較するための評価の視点について検討します。
ステップ４	再編案の比較評価	・ステップ3で検討した視点に基づき、複数の学校再編案を評価し比較します。
ステップ５	再編案の絞り込み	・ステップ4での評価結果に基づき学校再編案を絞り込みます。

2 検討のスケジュール

足助地区の学校再編に関わる検討は、ワークショップやオープンハウス等を通じて、地域の皆様のご意見をお伺いしながら再編案を検討し、市にて決定することを目指しています。

こうしたスケジュールのもと、足助地区では全体ワークショップの開催を４回予定しています。



3 コミュニケーション

学校再編構想の策定に向けた検討では、足助地区の皆様と様々なコミュニケーションをとり、進めていきます。

【説明会】

・検討の開始、中間経過報告、最終的な学校再編構想について、市から足助地区の皆様に説明会を開催します。

【地区別ワークショップ】

・小学校区ごとに開催し、参加者の皆様で複数の小グループを作り、多くの方にご発言いただきました。

・各グループで出た内容は、最後に参加者全員で共有しました。

【足助地区全体の教育環境を考えるワークショップ（全体ワークショップ）】

・自治区、小学校 PTA、こども園の関係者の皆様により構成します。

・グループごとに、テーマに沿ってご発言いただきます。

・各グループで出た内容はとりまとめし、共有します。

【オープンハウス】

・多くの皆様に見ていただける足助支所や交流館等の施設で、パネル展示を利用し、全体ワークショップで挙げられた意見や、検討された再編案などの内容を紹介します。

・その場にご意見箱を設け、全体ワークショップで検討されている内容についてご意見をいただき、次回のワークショップで共有します。

【かわら版】

・足助地区の各世帯に配布するチラシ「足助地区まちづくり NEWS かわら版」で、全体ワークショップで挙げられた意見や、検討された再編案などの内容を紹介します。

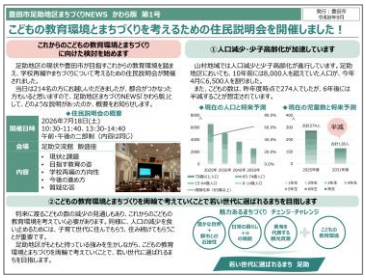
・二次元バーコードを添付し、メールや Web サイトから、全体ワークショップで検討されている内容についてご意見をいただきます。



▲ ワークショップのイメージ



▲ オープンハウスのイメージ



▲ かわら版のイメージ

4 全体ワークショップの概要

- 全体ワークショップは、令和９年度も含め４回開催する予定です。
- 原則、日曜日に開催します。会場は、各回とも足助支所で開催する予定です。
- 事務局は、教育政策課及び足助支所が担当します。
- 全体ワークショップには、自治区、小学校ＰＴＡ、こども園関係者の皆様により実施します。
- 原則として、各回で同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- 参加者の皆様には、グループ討議でご議論いただきます。

5 全体ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターが行います。
- 全体ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回の最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されないよう配慮します。また、発言内容や議論の結果について、参加者個人が責任を負うことはありませんので、自由で前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- 全体ワークショップの様子をかわら版やホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合があります。写真撮影や記録等で配慮が必要な方は、市職員に事前にお伝えください。

6 全体ワークショップの成果

- 全体ワークショップでのご意見等を踏まえ、複数の学校再編案を評価、比較し整理します。整理した内容は、市が学校再編構想を策定する際の基礎情報として活用します。

7 全体ワークショップの参加にあたって

・考えやアイデアを率直に出して、

積極的に参加しましょう

・自分ごととして考え、

前向きに話し合いましょう

・他の参加者の意見にも耳を傾けましょう

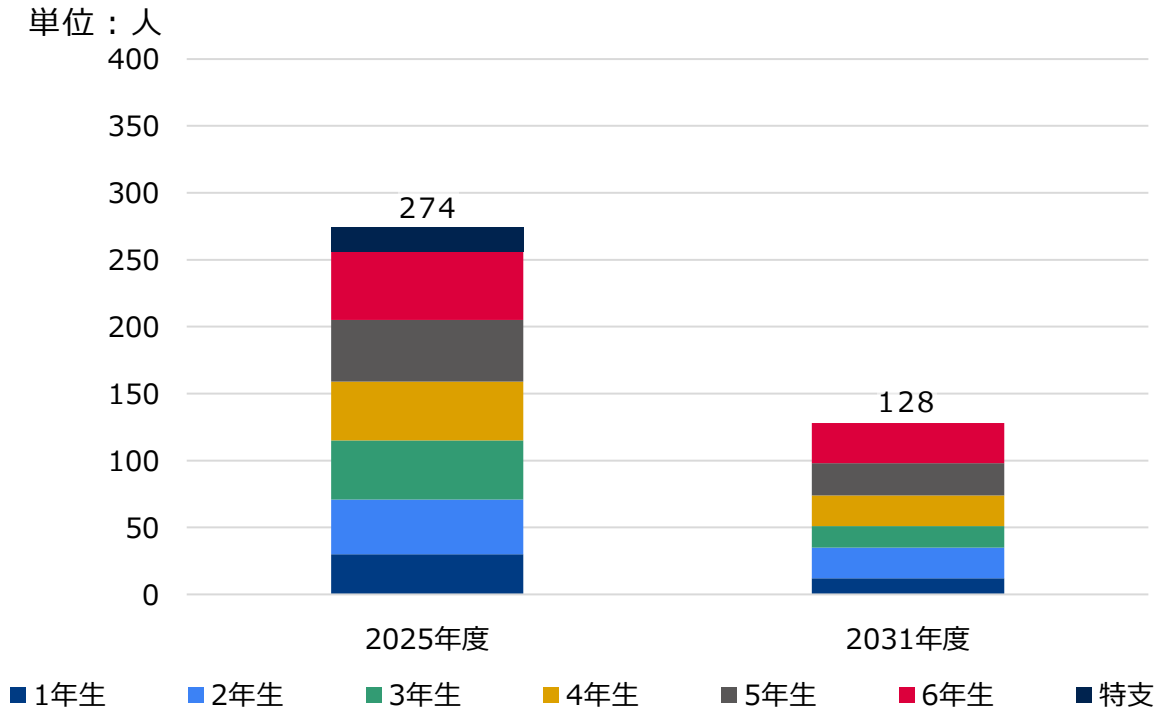
・お互いを尊重し、

気持ちよく参加できる場にしましょう

足助地区の現状

1 足助地区の児童数と将来予測

また、こどもの数は、2025 年度（令和７年度）時点で２７４人でしたが、６年後の 2031 年度（令和１３年度）には半減することが想定されています。



出典：豊田市

■小学校区別児童数（2025 年度）

小学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特支除く計	特支	合計
足　助	5	9	13	8	10	15	60	4	64
冷　田	7	3	8	5	8	7	38		38
追　分	1	5	2	8	4	5	25		25
佐　切	1	4	4	0	5	3	17	2	19
則　定	8	4	4	10	8	3	37	4	41
萩　野	0	2	4	5	1	5	17	2	19
明　和	1	6	1	3	2	3	16	2	18
新　盛	4	4	4	2	2	4	20	2	22
大　蔵	3	4	4	1	4	4	20		20
御　蔵	0	0	0	2	2	2	6	2	8
地区計	**30**	**41**	**44**	**44**	**46**	**51**	**256**	**18**	**274**

■小学校区別児童数　推計（2031 年度）

小学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特支除く計	特支	合計
足　助	0	3	1	4	4	5	-	-	17
冷　田	1	4	4	6	5	5	-	-	25
追　分	1	2	2	3	2	4	-	-	14
佐　切	1	2	1	0	2	2	-	-	8
則　定	2	2	1	2	1	1	-	-	9
萩　野	2	2	0	0	1	2	-	-	7
明　和	2	2	1	3	1	0	-	-	9
新　盛	3	3	2	4	2	5	-	-	19
大　蔵	0	3	1	1	4	4	-	-	13
御　蔵	0	0	3	0	2	2	-	-	7
地区計	**12**	**23**	**16**	**23**	**24**	**30**	**-**	**-**	**128**

出典：豊田市

豊田市が目指すこれからの教育環境

1 第5次豊田市教育行政計画の概要

「第５次豊田市教育行政計画（2026-2030）」では、これからの市の教育行政における基本理念、めざす学びの姿を掲げ、その実現に向けた基本方針や取組の方向性が定められました。



豊田市の教育

豊田市は、誰もが自分らしく豊かな人生を切り拓いていけるように、
「こども起点」と「つながり合う」という視点を大切にしながら、
教育に関する取組を着実に推進していきます。

学校における重点プロジェクト

こども一人ひとりが自分の気付きや思いを持ち、人や社会とつながりながら、
夢中になって仲間と学ぶ中で「自ら考え判断する力」を育むため、
地域とともに「探究的な学び」を進めていきます。



2 SDGsとよたローカルゴールの推進

豊田市は、持続可能な開発目標（SDGs）について、「SDGs 未来都市」として普及啓発や地域課題の解決の加速化を図り、持続可能なまちづくりに向けた取組を進めています。

また、変化の激しい予測困難な社会においては、まちの持続可能性に加え、市民一人ひとりの心身の豊かさも一層大切にしたいという思いから、豊田市独自の横断的な目標として「とよたローカルゴール」を設定しました。各取組においては、SDGs とローカルゴールを踏まえて推進していきます。



L1　こどもたちが夢と希望を持ち、自らのミライを切り拓く力を育む

持続可能なまちづくりのためには、次世代を担うこどもの育成が必要不可欠です。こどもたちが未来に向かって夢と希望を持ち、心豊かに暮らせるよう、「こども起点」、「こども視点」で施策の在り方を考え、まちづくりを推進します。



L2　誰もがつながり合い、様々な体験と感動を通じて、地域への愛着と誇りを持っている

地域や多世代によるつながり合いの中で、本市ならではの様々な体験や感動は、わたしたちの暮らしを豊かなものにしてくれます。本市に関わる全ての人が、本市や自分が居住する地域に対して愛着や誇りを感じられる地域社会をつくります。

3 山村地域の学校再編基本方針

1　方針の目的等

（1）目的

・山村地域では、少子化の進行に伴い学校の小規模化が加速度的に進み、こども同士が直接関わり合いながら協働的に学ぶ機会の減少など、育みたい資質・能力の形成に向けた様々な課題が生じています。また、社会環境の変化に伴い、地域のつながりの希薄化など、まちづくりの面においても対応が求められています。

・一方で、山村地域の学校は、「一人ひとりの個性を生かし伸ばす教育」や、「豊かな自然・地域資源を生かした学習」など、地域ならではの特色ある教育を展開し、郷土への愛着やコミュニティ形成に重要な役割を果たしてきました。こうした山村地域の教育的価値を継承しながら、第５次教育行政計画に基づき、新しい時代に対応した魅力ある教育環境の充実を図ることが必要です。

➡ 今後の山村地域における学校再編に当たっては、**こどもたちの教育環境の向上を中心に据えるとともに、将来を担うこどもたちが安心して住み続けられる地域社会の維持・発展も視野に入れながら、**山村地域の暮らしを支える持続可能な地域づくりにつながるよう、基本となる考え方を整理します。

（2）対象地域

・山村地域（旭地区、足助地区、稲武地区、小原地区及び下山地区）

※各中学校区単位での学校再編を基本とします。

2　山村地域の学校再編の基本方針

連続性、系統性を生かした先進的な教育の推進

○小中一貫教育の導入による「探究的な学び」の深化

○新しい時代に適応した教育を支える空間づくり（学校施設の統合、改修等）

地域とのつながりや郷土への愛着を育む山村ならではの学びの創出

○地域資源を生かした学び・体験の場や機会の充実

○学校・地域の活動をつなぎ、様々な人が出会い、交わる学校施設の有効活用（多機能化）

まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

○学校・地域の連携による地域づくりや多世代、多様な関係者の交流を促す取組の展開

○学校跡地の活用等による地域の魅力、活力の増進に向けたまちづくりの取組の展開

【学校再編を進める上で考慮すべきこと】

こども・保護者・地域との対話

こどものケア、保護者の負担や学校運営への配慮

通学環境の確保

跡地の活用

地域とのつながり

3　学校再編の進め方

○地区ごとの学校再編を進めるに当たっては、**住民との丁寧な対話**（住民参加型ワークショップ、住民説明会等）を重ねながら、市が地区ごとの**「学校再編構想」**として取りまとめ、具体化を図ります。

※対話においては、**望ましい教育環境について住民と議論・共有**し、合意形成を図ります。

○住民の考え方や地域の機運等を踏まえ、**具体的な進め方については地区ごとに決定**していきます。

4 足助地区の今後のまちづくり

足助地区では、教育環境の検討と並行して、まちづくりの総合的な取組を進めます。

こどもが地域とともに育つ環境づくり

こどもも大人も一緒に成長し、住み続けたくなる環境をつくる
- 山村に適した子育て環境づくり
- こども自身が安心して育つ場づくり
- 大人もこどもフラットに学び合う仕組みづくり
- 関係人口を呼び込む開かれた仕掛けづくり

→都市部にはない「足助ならではの学びの価値」を創出

生活利便性の向上

暮らしに必要なサービスをまとめ直し、生活を便利にする次の世代が住みたくなるような、新しい魅力をもつ地域の拠点をつくる
- 広域生活拠点機能（暮らしに必要な施設等）の利便性向上
- 次世代を呼び込むための新たな機能の充実

→次世代につなぐ、快適で暮らしやすいまちづくり

定住・創業の支援強化

地域資源を活用した創業　一時的な来訪から定着・定住へつなげる
- 居住促進地区への居住の誘導
- お試し暮らしの検討
- コミュニティとのつながりづくり
- 創業支援の強化

→地域に新たな価値を生み出す仕事や暮らしを支援

第１回全体ワークショップの検討内容

第１回全体ワークショップでは、以下の３つの質問に対して、グループ内で議論いただけますと幸いです。

①全体ワークショップの進め方についてご質問はありますか？

②学校再編を通じて足助地区全体で解決したい課題、配慮すべきことは何ですか？

③再編後の学校はどんな学校が良いと思いますか？
また、そのアイデアを実現するためには、どのような再編が必要と思いますか？

第１回の全体ワークショップで検討していただく視点

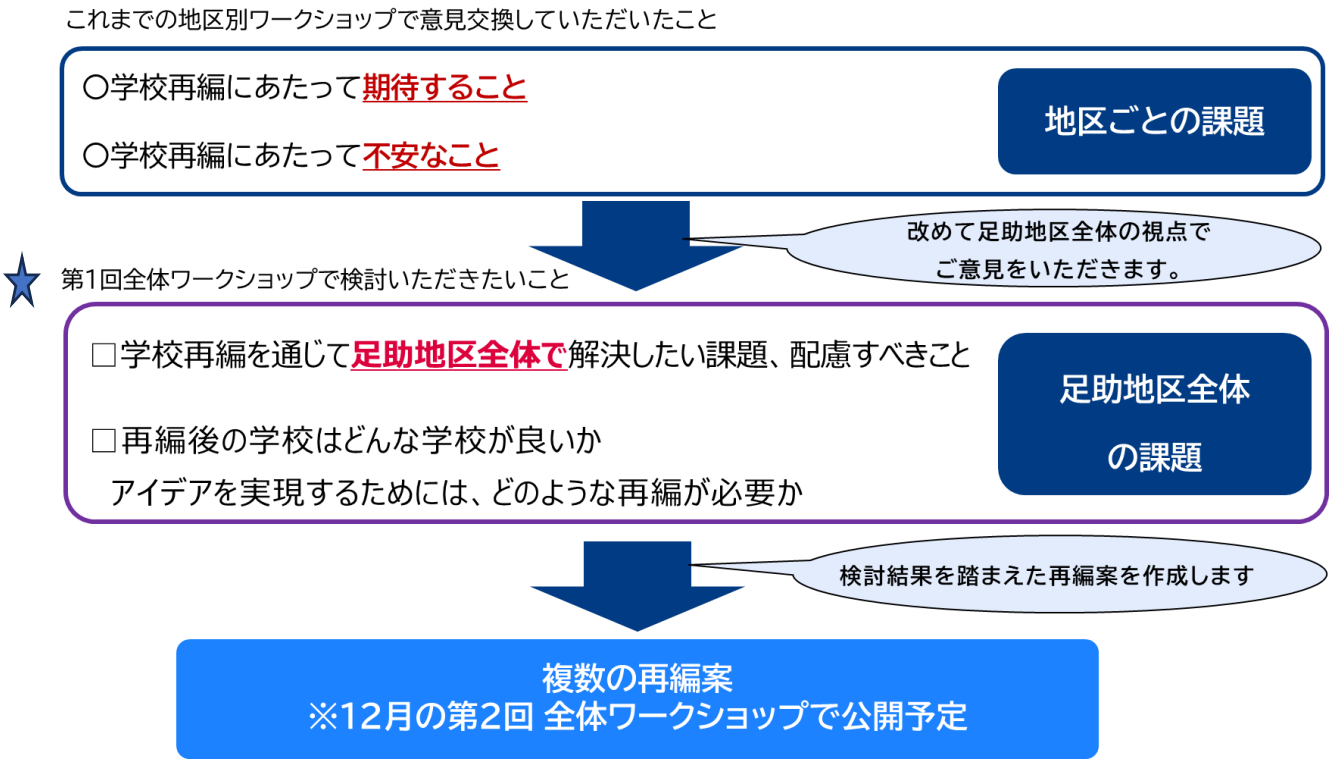
足助地区の学校再編に関しては、住民の皆さんのご意見を踏まえ、具体的な再編案を検討してまいります。

これまで行った地区別ワークショップでは、**「各小学校区における教育環境に関する課題」**や**「再編にあたって心配なこと・配慮すべきこと」**について話し合っていただきました。

しかし、足助地区にとって実現性が高く有効な再編案を考えるためには、各小学校区が抱える課題に加えて、そもそも**足助地区全体として学校再編でどんな課題を解決すべきなのか、どのようなことに配慮すべきなのか、どのような段取りで再編を進めるべきなのかという地区全体を見渡す視点での整理**が必要だと考えています。

第１回全体ワークショップには、足助のさまざまな地域からご参加いただいています。意見交換を通じて、それぞれの地域だけでなく、**足助全体についても思いを巡らせていただく機会**になればと思っています。

また、12 月開催予定の第２回全体ワークショップでは、いくつかの再編案をお示しし、意見交換を行う予定です。第１回全体ワークショップが、その検討の手掛かりとなるご意見をいただく機会になればと考えています。



全体ワークショップの検討の流れ

本日いただいたご意見は、足助地区全体の課題を解決する再編案を作成するための第一歩です

本日検討いただくこと

- 学校再編を通じて**足助地区全体で**解決したい課題、配慮すべきこと
- 再編後の学校はどんな学校が良いか
  アイデアを実現するためには、どのような再編が必要か

足助地区全体の課題

第2回（次回）で検討いただくこと

- 課題解決を図るための再編案（複数案）について意見交換
  ～足助地区の課題を解決するための案を市が作成します～
- 再編案（複数案）を比較検証するための評価指標について意見交換
  ～皆様のご意見が反映された案となっているかを確認する指標を市が作成します～

学校の再編案

評価項目

第3回で検討いただくこと

- 決定した評価指標に基づく再編案の評価結果案について意見交換
  ～第２回で設定した指標による評価結果案を市が提示します～

再編案の比較評価

第4回で検討いただくこと

- 再編案の絞り込み
  ～評価結果を見ながら、再編案の絞り込みを行います～

再編案の絞り込み